

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公開番号】特開2005-63974(P2005-63974A)
 【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-010
 【出願番号】特願2004-235801(P2004-235801)
 【国際特許分類】

H 0 5 G 1/10 (2006.01)

【F I】

H 0 5 G 1/10

【手続補正書】
 【提出日】平成19年8月9日(2007.8.9)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0002
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0002】

従来技術では、医用画像取得用のX線を発生するためには、X線管のアノードとカソードとの間に40kV（キロボルト）－160kV超にわたる電源電圧を必要とする。この電圧は一般的には、接地に対して対称な2種類の高電圧を印加する二極式装置によって得られる。換言すると、アノードとカソードとの間に160kVを発生するために、アノードで＋80kVを発生しカソードで－80kVを発生する装置が用いられる。一般的には、アノード及びカソードに印加されるこれら2種類の高電圧すなわち正負の高電圧の和を制御することによりこの高電圧を調節する。約10,000の比すなわち一般的には10kVに対して1Vの比で、測定される電圧を分圧する2個の同等の装置が2種類の高電圧を測定する。約100kVの電圧において油内で良好に動作するために、この種の測定装置は2枚の導電プレートの間の最大間隔を約40mm（ミリメートル）としなければならない。

【特許文献1】米国特許第4870746号